

和歌山縣報

第千八百八十四號

明治四十五年七月三日

○告示

○和歌山縣告示第二百三十五號

縣會議員尾崎泰夫ハ當選無効トナリタルヲ以テ府縣制第十三條ニ依リ更ニ選舉ヲ行フ其ノ投票ヲ行フヘキ日時選舉區及選舉スヘキ議員ノ員數左ノ如シ

明治四十五年七月三日

和歌山縣知事 川村竹治

投票ヲ行フヘキ日時

選舉ヲ行フヘキ選舉區

選舉スヘキ議員ノ員數

明治四十五年七月二十五日
午前八時ヨリ午後二時迄

伊都郡

壹人

○和歌山縣告示第二百三十六號

四十年二月岐阜縣令第五號縣費支辨退隱料扶助料給助金仕拂手續中左記ノ通告正セラレタル旨全縣ヨリ通知アリタリ

明治四十五年七月三日

和歌山縣知事 川村竹治

○岐阜縣令第二七號

明治四十年二月岐阜縣令第五號縣費支辨退隱料扶助料給助金仕拂手續第一號書式備考中二ノ次ニ左

ノ通追加以下順次繰下ク

明治四十五年六月二十六日

岐阜縣知事 薄 定 吉

- 三 退隱料又ハ給助金ノ支給ヲ停止セラレサル場合ト雖モ公務(選置ニ在テハ判任ノ官職ニ在テハ判任ノ官職)ニ就職中ノ者ハ其ノ官職名及給料額ヲ又公務(官待遇以上ノ官職)ニ從事セサル者ハ其ノ旨ヲ但書中ニ記載スヘシ
- 四 退隱料又ハ給助金ヲ受クル者証書ノ檢閲ヲ受クヘキ市町村長管理外ノ公務(選置ニ在テハ判任ノ官職)ニ就職セル者ハ請求書ニ其主長ノ証印ヲ得テ市町村長ノ檢閲ヲ受クヘシ

縣費支辨退隱料、扶助料、給助金仕拂手續 四十年二月 縣令五號

第一條 縣費ヨリ支辨スル小學校教員、巡查、縣ノ吏員及職員ノ退隱料、扶助料、給助金ヲ受クル者其ノ仕拂ヲ受ケントスルトキハ當廳又ハ其ノ現住地ノ市役所、町村役場ニ出頭シテ年金証書ヲ提示シ同時ニ第一號様式ニ依リ請求書ヲ差出スヘシ

第二條 市町村長ハ前條ノ年金証書ヲ檢閲シ且權利ノ消滅又ハ停止ノ事故ナキヤ否ヲ調査シ受領權アリト認メタルトキハ請求書ノ餘白又ハ繼紙ニ第二號第三號様式ニ依リ証明ノ上之ヲ當廳ニ送付スヘシ

第三條 仕拂金ハ送金ヲ請求スルモノ、外當廳ニ於テ之ヲ交付ス現住地ニ仕拂金ノ送付ヲ受ケムトスル者ハ請求書ニ其旨ヲ附記スヘシ

附 則

第四條 本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第五條 明治三十三年七月岐阜縣告示第四百四十六號同年七月岐阜縣訓令第七十二號及明治三十四年

十 岐阜縣告示第九十六號中本令ニ牴觸スル事項ハ之ヲ廢止ス

第一號 (用紙半紙)

何々退隱料(又ハ扶助料金)請求書

元官職(又ハ元何々某寡婦、父、母、孤兒等)

氏 名

明治何年何月何日生

年額金何圓

一金何圓何拾錢

但シ何年何月ヨリ何年何月迄ノ給額

(年齢ヲ記載スルハ孤兒ニ限ル)

右請求候也

何郡(市)何町村大字何

明治 年 月 日 何 某 印

仕拂命令官

岐阜縣知事氏 名宛

備考

一 支出年度ヲ異ニスル金額ノ分ハ各別紙ニ認ムヘシ

二 新規許可ノモノハ其ノ許可及起算ノ年月日ヲ記載シ又死亡離籍在官成年其ノ他ノ事項ニ依リ權利ノ消滅停止或ハ給額減少ノ場合ハ總テ其年月日事由ヲ但書中ニ記載スヘシ其ノ支給停止又ハ減給中ノモノ給額ヲ復スル場合亦同シ

三 法定代理人ヨリ請求スルモノハ本人氏名ノ次ニ其住所氏名及親權ヲ行フ父母若ハ後見人等ノ關係ヲ記載シ捺印スヘシ

四 受給者死亡シタル後死亡前ノ給額ヲ遺族ヨリ請求スル場合ニ在リテモ亦前項ニ準スヘシ

第二號

市町村長ノ証明記載例

本人所持ノ何年何月何日第何號何々證書ヲ檢閲シ權利ノ消滅又ハ停止ノ事故ナキヲ証明ス
 (再任等ニ依リ幾分ノ停止又ハ中途ニ全部ノ停止若ハ受領權消滅等ノ場合ハ其ノ事由ヲ記載シテ証明スルモノトス)

明治 年 月 日

何市町村長氏名印

第三號

同上本人死亡シタルトキノ証明記載例

本人某ノ何年何月何日附第何號何々證書ヲ檢閲シ尙全人ハ何年何月何日死亡セシモ同日迄ニ對スル權利ニ故障ナク而シテ請求者某ハ其ノ遺族ニシテ之ヲ受取ルヘキ正當權利者タルコトヲ証明ス

明治 年 月 日

何市町村長氏名印

○和歌山縣告示第二百三十七號

畜牛結核病豫防法第一條全第二條ニ依リ明治四十五年九月十五日ヨリ西牟婁郡内ニ於ケル畜牛ノ檢査ヲ行フ

明治四十五年七月三日

和歌山縣知事

川村竹治

○ 辭 令

○明治四十五年七月二日

日高郡立日高第一實業學校長心得兼務ヲ命ス

日高第一實業學校教諭 宮 原 剛

○ 彙 報

○進級 事務官從五位勳五等相良歩ハ勳四等ニ西牟婁郡長從六位勳六等楠見節ハ勳五等ニ執レモ去月二十七日進級シ瑞寶章ヲ賜ハリタリ

○轉任 新宮中學校教諭河久津吉五郎ハ去月二十三日巖手縣立福岡中學校教諭ニ轉任セリ

○ 町 村 吏 員 ノ 異 動

○明治四十五年七月二日認可

西牟婁郡栗栖川村有給村長 長谷川登造 ✓

